

単位型投信/内外/資産複合

# りそな・リスクコントロールファンド(愛称:みつぼしフライト)

## 各ファンドの足元での運用状況と今後の運用方針について

作成基準日:2021年8月26日

**ポイント①** みつぼしフライトシリーズ\* 全ファンドのポートフォリオはフルインベストメントで運用し、基準価額は順調に回復中

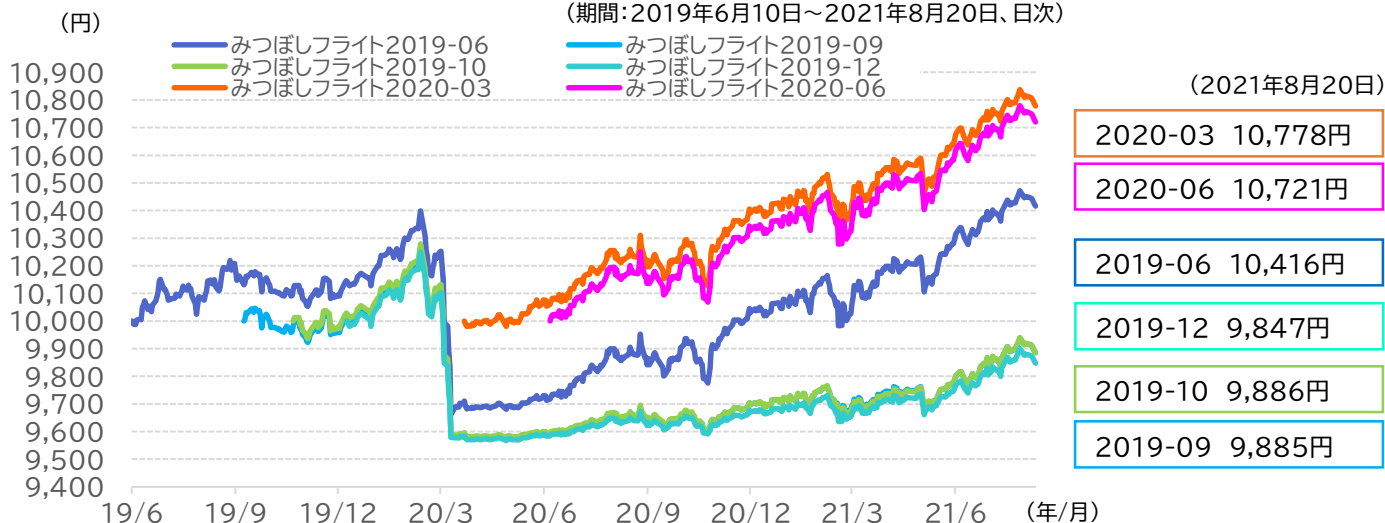
**ポイント②** みつぼしフライト2020-03、2020-06はともに『確保ライン』10,000円を確保

### みつぼしフライトシリーズ運用状況とポートフォリオ

- 各ファンドは、2020年3月以降、グローバル株式市場の急落を受け、基準価額の下落を抑制するために一時キャッシュ等の比率を大幅に高めました。その後、各国が緩和的な金融政策および大規模な財政政策を打ち出すと、グローバル株式市場は上昇基調となりました。また、欧米で新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されると、経済活動正常化への期待からグローバル株式市場は上昇を継続しました。このような市場環境の中キャッシュ等の比率を順次引下げ、各ファンドの基準価額も堅調に推移しました。

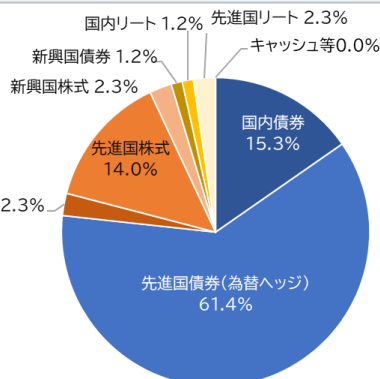
【みつぼしフライトシリーズ 基準価額推移】

(期間:2019年6月10日~2021年8月20日、日次)



※基準価額は分配金再投資後のものです。基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬等)控除後のものです。  
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

- みつぼしフライト2019-12は、マーケット環境の改善を受け、基準価額が順調に回復していることから、7月にキャッシュ等の比率をゼロにし、フルインベストメントとする資産配分に変更いたしました。これにより、みつぼしフライトシリーズ全ファンドのポートフォリオは、フルインベストとなっています。



【みつぼしフライトシリーズ ポートフォリオ】

(2021年8月24日時点)

安定性重視資産	成長性重視資産	キャッシュ等
国内債券 先進国債券 (為替ヘッジあり)	国内株式・先進国株式 新興国株式・新興国債券 国内リート・先進国リート	残存期間の短い 国内の公社債等
76.7%	23.3%	0.0%

\*「みつぼしフライトシリーズ」は、2021年8月26日時点で運用を行っている「りそな・リスクコントロールファンド2019-06」、「同2019-09」、「同2019-10」、「同2019-12」、「同2020-03」、「同2020-06」のことを指します。

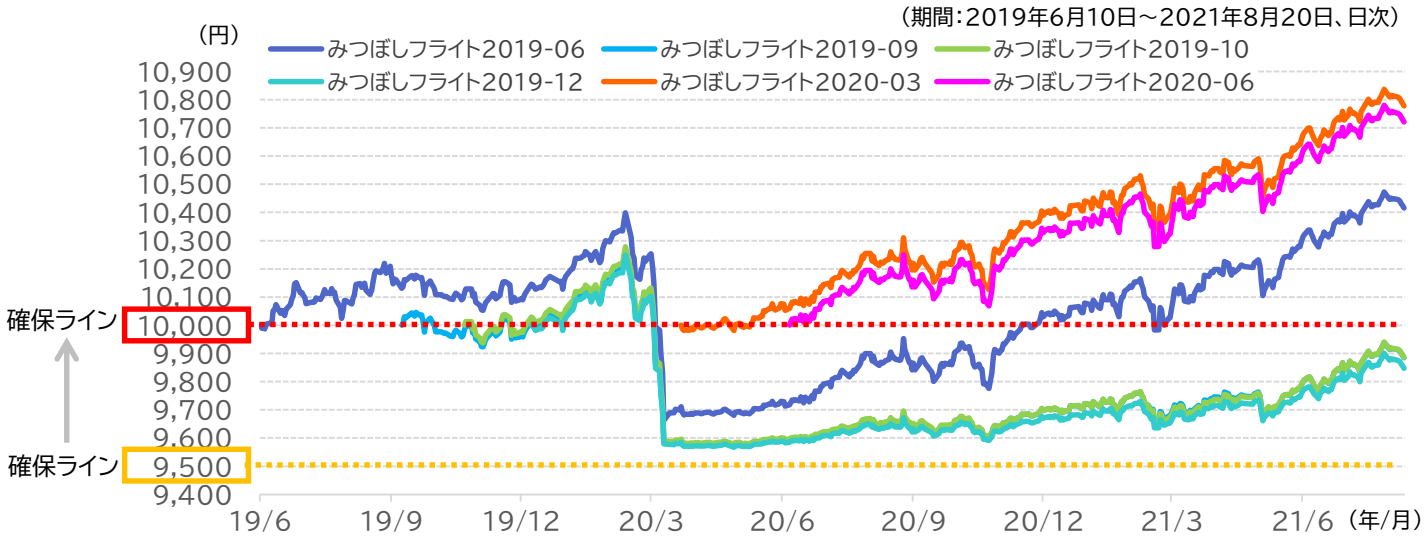
※上記は計画値であり、実際の数値とは異なります。



# みつぼしフライトシリーズの基準価額推移と『確保ライン』

- みつぼしフライト2020-03、2020-06の基準価額は設定来堅調に推移し、『確保ライン』10,000円に引き上がっています。
- みつぼしフライト2019-06の基準価額は、昨年2月頃大きく下落する局面がありましたが、その後堅調に推移し、『確保ライン』10,000円が視野に入る水準まで上昇しています。
- みつぼしフライト2019-09、2019-10、2019-12はポートフォリオをフルインベストメントへ変更しているため、今後の基準価額の上昇が期待できます。

【みつぼしフライトシリーズ 基準価額推移】

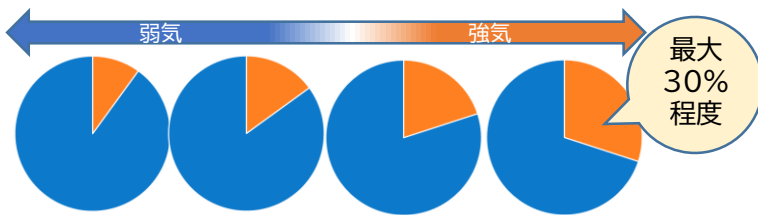


## みつぼしフライトシリーズの商品性

### ポイント①日本を含む世界の債券・株式・リートへ国際分散投資

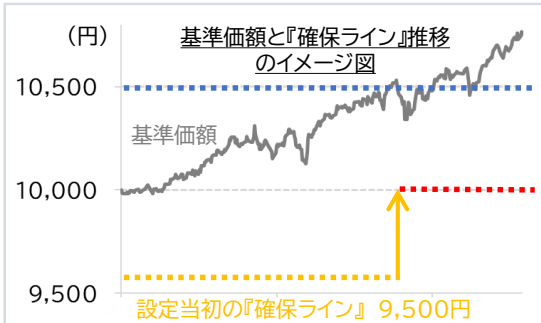
投資環境に応じて資産配分を変更、運用リスクをコントロール

安定性重視資産	成長性重視資産
国内債券 先進国債券 (為替ヘッジあり)	国内株式・先進国株式 新興国株式・新興国債券 国内リート・先進国リート



※上記はイメージ図であり、実際の運用において上記の資産配分比率で運用することを保証するものではありません。

### ポイント②『確保ライン』を設定し元本の95%を確保



基準価額が、10,500円以上となった場合、その翌営業日より『確保ライン』は10,000円に引き上げます。



みつぼしフライト2020-03、2020-06がすでに元本確保100%対象ファンドとなっています。

※上記はイメージ図であり、実際の基準価額等を示したものではなく、また将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



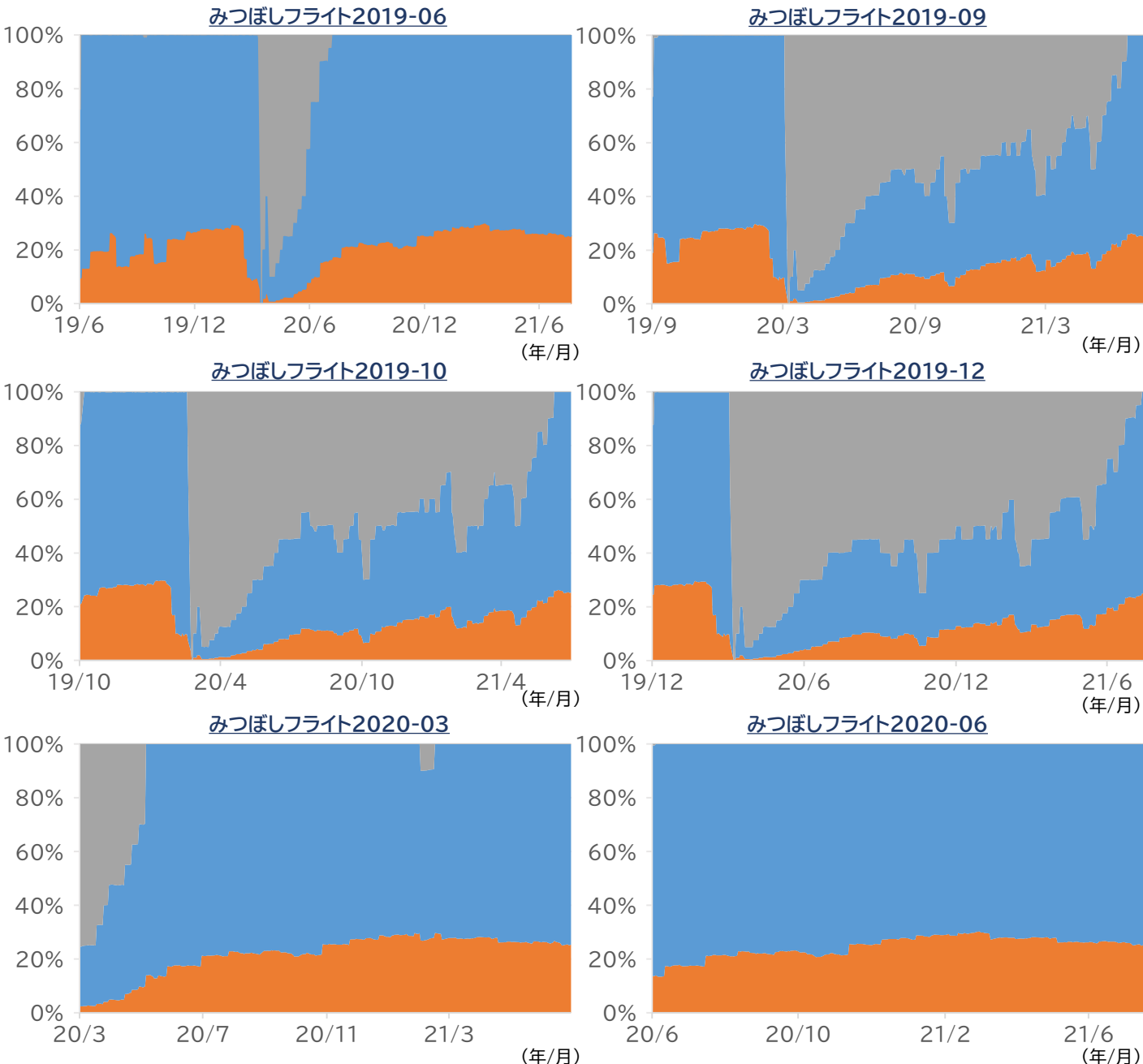
# 今後の運用方針

- みつぼしフライトシリーズでは、投資環境の変化に応じて資産配分比率の見直しを行うとともに、基準価額が『確保ライン』に近づいた場合、キャッシュ等への投資を行うことで基準価額が『確保ライン』を上回る水準での運用の継続を目指します。
- 基準価額の上昇に伴い、各ファンドでキャッシュ等の比率をそれぞれ段階的に引き下げ、2021年7月末現在、キャッシュ等の保有比率は全ファンドにおいて0%（リスク性資産100%＝フルインベストメント）としております。
- 足もとにおいても、依然として新型コロナウイルスの感染拡大が続いているものの、緩和的な市場環境とワクチンの進展を受け、海外株式市場を中心に堅調な動きが観測されています。引き続き、みつぼしフライトシリーズでは、定量的手法により安定性重視資産と成長性重視資産の比率をコントロールすることで、今後も安定的な収益獲得に努めてまいります。



## 《ご参考》安定性重視資産と成長性重視資産の組入比率の推移

■ 成長性重視資産 ■ 安定性重視資産 ■ キャッシュ等



※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

- 当資料は、情報提供を目的として、リそなアセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は、投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績等の記載内容は過去のものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

商号等:リそなアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会